

日本館レジダンのみなさまへ      ヴァイオリニスト 北浜怜子

こんにちは！ 2021年10月16日に、久しぶりに、日本館で、音楽会を開くことができることになりました。というのも、コロナのおかげで、集会もままならない状態だったからです。以前は、館野泉さんのピアノでバッハのシャコンヌなどの催し物がありました。それで、ピアノのすばらしさを知りました。

それから、ずいぶんと月日が経ってしまいましたが、室内楽奏者である私は、レジダンの若い方々に、室内楽の喜びを知ってもらおう、そして詩の朗読を入れた新しい形式の音楽に接していただこうと思っています。生の音楽に接するという事は貴重な経験です。ラジオやテレビ、オーディオで聴いた音楽とは違う本物に接する貴重な経験になると思います。

フランスの文化に接するための本当の第一歩になるのが、生の音楽や詩に触れてみることなのです。そこに集う人々、雰囲気、そのほかのもろもろの事柄が、じかに体に伝わってくる良い機会です。これで、ほかの音楽会や教会のオルガン、それにまつわる文学、あるいは科学と、知的世界が広がっていくことでしょう。まず第一歩を踏み出してみてください。私もヨーロッパの音楽、ひいては文化に接したときの感動をいまだに忘れることができないのですから。